

下 監 第 30 号  
令和 8 年 7 月 16 日

下田市長      松木   正一郎   様

下田市監査委員   鈴木   邦 明  
下田市監査委員   江 田   邦 明

### 財政援助団体等に係る監査結果報告書

地方自治法第199条第7項の規定に基づき財政援助団体に係る監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

# 目 次

|                                |   |
|--------------------------------|---|
| 監査の種別、期間、対象、範囲、方法、概要及び結果 ..... | 1 |
| 伊豆漁業協同組合 .....                 | 2 |
| ・ 浅海漁業振興対策事業補助金                |   |
| ・ 漁船団誘致対策事業補助金                 |   |
| ・ 水産業基幹施設整備事業補助金               |   |
| ・ 漁業近代化資金等保証補給事業補助金            |   |
| 商店街開国市実行委員会 .....              | 4 |
| ・ 黒船祭協賛行事（商店街開国市）補助金           |   |

## 1 監査の種別

財政援助団体に係る監査

## 2 監査の期間

令和8年5月22日から令和8年6月9日まで

## 3 監査の対象

### (1) 伊豆漁業協同組合

- ・ 浅海漁業振興対策事業補助金
- ・ 漁船団誘致対策事業補助金
- ・ 水産業基幹施設整備事業補助金
- ・ 漁業近代化資金等保証補給事業補助金

### (2) 商店街開国市実行委員会

- ・ 黒船祭協賛行事（商店街開国市）補助金

※100万円以上の補助金を交付している団体から抽出した。

## 4 監査の範囲

令和7年度の財政援助に係る出納及び事務事業の執行状況

## 5 監査の方法

下田市監査基準に準拠し、提出された審査資料に基づき関係諸帳簿との照合を行ったほか、関係職員から説明を聴取するとともに、補助金の交付目的に沿って出納及び事務事業が適正に執行されているか監査した。

## 6 概要及び監査の結果

次のとおり

（注）1 文中の率については、原則として小数点以下第2位を「四捨五入」としてある。

# 1 伊豆漁業協同組合

## (1) 組織の概要

団 体 名：伊豆漁業協同組合

設 立 日：平成21年3月30日

(設立経緯) 平成20年9月1日、伊豆半島内6漁協が合併し、その後平成21年3月30日に松崎、田子漁協を迎い入れ発足した。大きな市場を持つ旧下田市場を本所に構え、他の旧漁協は、支所となっている。

設 立 目 的：組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産能率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めることを目的とする。

職 員 数：100名

(うち、会計年度任用職員50名。令和8年3月31日現在)

## (2) 補助金の交付状況

### ① 浅海漁業振興対策事業補助金

所 管 課：産業振興課

交 付 目 的：アワビやマダイ、ヒラメ等の稚魚、稚貝の放流により、水産資源の維持・拡大を図り、漁業経営の安定化を推進する。

支出の根拠：下田市水産業振興事業補助金交付要綱

事 業 実 績：アワビ稚貝放流   メガイ 0 個、クロ3,500個

                  ヒラメ稚魚放流   5,000尾

                  マダイ稚魚放流   41,000尾

### ② 漁船団誘致対策事業補助金

所 管 課：産業振興課

交 付 目 的：下田魚市場の水揚状況は外来船に依存する部分が大きく、下田港の水揚量の増と市内の経済活性化を図るため、外来漁船の誘致対策を推進する。

支出の根拠：下田市水産業振興事業補助金交付要綱

事 業 実 績：青森県   2 隻

                  宮城県   1 隻

                  千葉県   1 隻

                  東京都   17 隻

                  三重県   1 隻

                  大分県   1 隻

③ 水産業基幹施設整備事業補助金

所 管 課：産業振興課

交 付 目 的：水産業の活性化及び振興を図るため、水産業基幹施設の設備機能向上を推進する。

支出の根拠：下田市水産業振興事業補助金交付要綱

事 業 実 績：武ガ浜上架施設レールの改修

④ 漁業近代化資金等保証補給事業補助金

所 管 課：産業振興課

交 付 目 的：漁船その他の施設の整備促進のため、資金借入を容易にすることにより、市内漁業者等の資本装備の高度化を推進する。

支出の根拠：下田市漁業近代化資金等保証料補給交付要綱

事 業 実 績：保証料補給金 1 件

決算状況：

(単位：円、%)

| 補助金の名称            | 令和 7 年度   |           | <参考><br>補助率(B/A) |
|-------------------|-----------|-----------|------------------|
|                   | 事業費 A     | 市補助額 B    |                  |
| 浅海漁業振興対策事業補助金     | 1,626,959 | 250,000   | 15.4             |
| 漁船団誘致対策事業補助金      | 1,942,256 | 200,000   | 10.3             |
| 水産業基幹施設整備事業補助金    | 5,180,000 | 1,700,000 | 32.8             |
| 漁業近代化資金等保証補給事業補助金 | 34,293    | 34,293    | 100.0            |

(3) 監査の結果

決算書及び関係諸帳簿等を審査した結果、市補助金の執行は交付目的に沿い、おおむね適正に処理されていると認められたが、交付関係書類において、日付等の記載誤りが複数見受けられたため、所管課及び団体に対し改善を求めた。

また、一部の補助要綱における補助金充当先が、贈答品への支出であったため、充当先区分の見直しについて再考を求めた。

なお、次世代への豊かな水産資源の保全及び維持管理とともに、水産業の活性化に寄与されることを強く望むものである。

## 2 商店街開国市実行委員会

### (1) 組織の概要

設 立 目 的：下田市では、毎年5月に市内最大の観光イベントである黒船祭が開催される。商店街開国市実行委員会は、黒船祭に訪れた方に商店街や中心市街地を回遊してもらい、賑わいの創出と地域経済の活性化を図ることを目的とする。

会 員 数：20名

事 務 局：下田商工会議所

### (2) 補助金の交付状況

補助金名称：黒船祭協賛行事（商店街開国市）補助金

所 管 課：観光交流課

交 付 目 的：黒船祭における賑わいの創出、日米交流の促進を目的とする。

支出の根拠：下田市補助金等交付規則

事 業 実 績：

- ・郵便局横KIZUNA広場

特設ステージを設営し地元ミュージシャンや下田吹奏楽団等の演奏を行った。広場内には露店や縁日の出店を行った。

- ・開国グルメひろば

商工会議所前アイキパーキング内特設会場にて、様々なグルメの露天やキッチンカーが出店した。

- ・大道芸、路上ライブ

各通りごとに、路上での大道芸ライブ、ダンス等を行った。

- ・テナント出店

下田市商店会連盟に加盟する5つの通りを歩行者天国として、通りごとの出店を行った。

- ・へんしんコーナー

旧町内3カ所に時代衣装の着付けコーナーを設置し、街中に幕末情緒感を創出した。

- ・悪代官神社

開国市の名キャラクターである悪代官を模した神社を制作した。

- ・開国ボランティア

開国市の公式ボランティアを募集した。学生参加者にはボランティア証明書を発行した。

決算状況：

(単位：円、%)

| 補助金の名称             | 令和7年度     |           | <参考><br>補助率(B/A) |
|--------------------|-----------|-----------|------------------|
|                    | 事業費 A     | 市補助額 B    |                  |
| 黒船祭協賛行事(商店街開国市)補助金 | 5,317,400 | 4,000,000 | 75.2             |

### (3) 監査の結果

交付関係書類、決算書及び関係諸帳簿等を審査した結果、市補助金の執行は交付目的に沿い、おおむね適正に処理されていると認めた。

なお、補助金交付先団体としての活動を明確にするため、事業年度を含めた規約等の制定を検討されたい。

今後も歴史ある黒船祭を通して、当市の経済活性化のため、商店会連盟と連携し、官民一体となった賑わいの創出に努められたい。